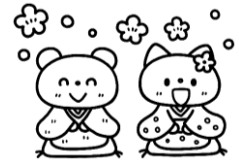




# ひのでたより

令和5年1月4日

ひので保育園



## あけましておめでとうございます

こどもたちの元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。日に日に寒さが増すこの頃ですが、戸外で元気いっぱい過ごしていきたいと思います。

今年もこどもたちが充実した園生活を過ごせるよう、大切に見守っていききたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



12月23日に、ひので堂 駄菓子屋さんが開店しました！！

手作りのお財布やお金をもって、お買い物ごっこ。好きなお菓子を選んだり、お金を自分で払ったりして、楽しむ姿がみられました。自分で買ったお菓子はとてもおいしそうでしたよ。



どれに  
しようかなー♪



お金の支払い…  
ドキドキ！！

0・1・2歳（ひよこ組・こりす組・うさぎ組）さん、寒い冬も元気いっぱい♪走り回ったり、落ち葉で遊んだり冬を満喫していますよ。



～お知らせ・お願ひ～

- 就労証明書等、入所に関する書類は、1月18日（水）までのご提出をお願いします。
- 今年度の卒園式は、3月11日（土）を予定しています。

## ～お手伝いで育つ「生きる力」～

子どもがある程度の年齢になってくると、大人の姿を見て真似するようになり、「やってみたい」という場面があると思います。そんな時は、子どもにできる範囲でお手伝いを頼んでみましょう。最初のうちは失敗もあるかもしれませんが、お手伝いは子どもにとって大事な育ちの過程になります。

### Point① 「ありがとう」と感謝されること

子どもは、いつも大好きな人のためになりたい、お役に立ちたいと思っています。だから、「ありがとう」って言ってもらうことはこれからの社会生活を考えたときに大切な経験になります。

### Point② 手を使うことで注意力が育つこと

手を使う作業は、対象となっているものを見ながら、注意深く持ったり、手を動かしたりしなければなりません。眼と手の協調運動を必要とする作業です。これを行うことで、手先だけでなく、注意をそこに向ける注意力が育てられます。

### Point③ ゴールがはっきりしているということ

おもちゃ遊びなどは、完成することがなくて、どこがゴールなのか分かりません。でも、家事にはきっちりとした終わりがあります。例えば、洗濯物を取り込みすべて頼まれたところに運べたらゴール。テーブル拭きは、テーブルをきれいに拭くことができたなら終わりなど結果がはっきりしていて、達成感もやりがいもあります。

子どもは家族という社会の一員です。子どもも役割をもって、“一緒に生きていく仲間”、という気持ちで接していくことは、将来の社会参加に向けての大事な準備になります。その子にあった課題を見つけて、一手間でもいいから参加させて、「ありがとう、助かったわ」というチャンスを1日に1回でももてるように、日常に組み込んでいけるといいですね。

### 子どもにお願いするとよいお手伝い例

1～2歳	3～4歳	5～6歳
<ul style="list-style-type: none"><li>おもちゃの片づけ</li><li>テーブル拭き</li><li>軽い食器運び</li></ul>  <p>親子で一緒に！</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>洗濯物たたみ</li><li>食器洗い</li><li>簡単な掃除</li></ul>  <p>できる作業も増えてくるため、新しいお手伝いに最適なタイミングです</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>お風呂掃除</li><li>ごみ捨て</li><li>洗濯物干し</li></ul>  <p>やりたいお手伝いを一緒に考えてみるのもおすすめです！</p>